

職能としての科学コミュニケーション

GRIPS政策研究センターの研究プロジェクト「科学コミュニケーターのスキル・スタンダードとナレッジプラットフォームの構築」（研究代表者：隅藏康一教授，研究の概要はこちらのリンク <https://bit.ly/3dccEpi>）のためのアンケートです。科学コミュニケーションを職能として捉え、社会の中で活かそうとしている方を対象としています。（学習だけしている人は対象としておりません）

所要時間は15~20分程度です。内容に関するご質問があれば，最終セクションに記入頂くか，樋江井・松田・谷・澤田までお寄せください。

*必須

1. 【お名前】

2. 【年齢】

1つだけマークしてください。

16~25 歳

26~35 歳

36~45 歳

46~55 歳

56~65 歳

66~75 歳

3. 【ご所属】

4。 職業

1 つだけマークしてください。

- 会社員
- 公務員
- 団体職員
- 自営業
- 会社役員
- 自由業
- 専業主婦（夫）
- 学生
- 無職
- その他: _____

5。 【教育歴】：最終学歴を教えてください

1 つだけマークしてください。

- 高卒
- 学士卒
- 修士卒
- 博士卒 (Ph.D., MD)

6。 あなたが科学コミュニケーションを通じ、あるいは科学コミュニケーションに関する経験や能力を活かし、社会とどのように関わっているか、職務または活動内容を記述してください。

複数回答可（例：雑誌編集社での仕事、科学館でのボランティア活動、サイエンスカフェの実施など）

- 9。あなたが科学コミュニケーションを通じ、あるいは科学コミュニケーションに関する経験や能力を活かし、社会に生み出している価値や意義として、当てはまると思うもの全てにチェックを入れてください（複数回答可。その他自由記述あり）*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.科学や理科への興味を高める機会を提供したり、理解しやすく伝えたりする
- 2.専門的な知識情報、個人のキャラクター等により、固有性や独自性のある楽しさや学びを提供する
- 3.先進的な教育の開発や実施等を通じ、教育を更新する（科学分野に限らない）
- 4.社会的な関心が寄せられるテーマを、科学的な視点を踏まえ、あるいは有識者として、情報提供、解説する
- 5.要求に応じて文章や画像、動画、Webサイト、アプリ等を制作し、発注者の発信等を援助する
- 6.相手の話を深く理解し、願いや欲求を満たすことで満足感を与える
- 7.対話によって相手を理解し、深掘りやアドバイスによって気付きや変容を促す
- 8.司会や通訳、ファシリテーターとしてイベントや議論の価値を高める
- 9.研究者を兼ね、自らの研究の意義や面白さを発信する
- 10.研究機関や企業の構想、成果等を広報する
- 11.ビジネスや事業の成功のために、知識情報や企画力、論理思考力などを活用する
- 12.社会イノベーションや社会課題解決に向けたビジョンを掲げ、実現を目指して活動する
- 13.文章、画像、番組、空間、展示、施設等を企画制作し、楽しさや感動、共感などを生み出す
- 14.視点や考え方、未来像などの提示や問題提起により、社会の議論や価値観を更新する
- 15.市民や研究者、投資家、政治家などのステークホルダーをつなぎ、合意形成や政策提言につなげる
- 16.社会において前例の少ないものも含めたさまざまな仕事の受け皿となり、形にする
- 17.従来の理科教育から先進的な学びまで多種多様に併せ持ち、その状況に必要なコンテンツを提供、実践する
- 18.科学技術に関する知識情報と、ビジネス領域の能力を兼ね備え、科学技術の社会実装等を進める
- 19.科学館や博物館等の施設の運営、管理に携わる
- 20.科学コミュニケーターの養成や、科学コミュニケーションの普及に貢献する
- 21.科学コミュニケーションを研究する

その他: _____

「科学コミュニケーション」に関するスキルの整理と棚卸し

あなたが現段階でもっている「知識」、「スキル」について自己評価をしてください。

10. 1. 専門性、得意分野

ご自身が最も得意とする領域（話題、専門分野、テーマ）を具体的に1つ記述してください。※学問や研究に携わった経験の有無は考慮しなくてOKです。（例：ES細胞について、素粒子物理、モンゴル語、など）

11. 前問のもの以外にアピールしたい具体的な得意領域（トピック、専門分野、テーマ）があれば記述してください。（例：ES細胞について、素粒子物理、モンゴル語、など）※複数回答可

12. 2. 総合的な知識情報、教養（博識性）

幅広く総合的な知識情報をもつ分野を記述してください。複数可。（例：生命科学、ロボット工学、情報科学等）

図表、Web等の制作技術//
文章や画像、動画、Web、アプリ、立体物等を作成、編集する技術



相手への対応力// 相手の思考や知識のレベル、興味等を把握し、対応する力



し、議論や
思考、事業
などを形に
して着地さ
せ、完遂す
る力

を、客観的
に捉えて理
解する力

野心、動
機、原動
力// 自分
自身を突き
動かす原動
力



20. 10. その他の能力

これまでの項目以外に、ご自身が持っている技術、能力、スキル、強み等の項目として考えられるものがあれば、上げてください。（複数回答可）

21. 11. 仕事の立ち位置ごとの経験値、実践力 *

1行につき1つだけマークしてください。

	0.分からない、考えたことがない	1.全くできない	2.人のサポートを受けながら実践できる	3.ひとりで実践できる	4.付加価値を出すことができる	5.第一人者として仕事ができる
対個人や教育分野での仕事の実践力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
組織内、企業人、受注者としての仕事の実戦力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ビジネス、対組織、対企業での仕事の実践力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

22. 「今後仕事をしたい」あるいは「興味がある」業界、職種があれば教えてください。

業界の例) 大学・アカデミア, 科学館・博物館等, 事業会社, コンサルティング企業, スタートアップ, シンクタンク, 行政 など。職種の例) URA, 大学広報, 学芸員, 新規事業開発, PRプランナー, コンサルタント, マーケター, 経営者・CxO など

このアンケートについての意見、改善提案など

や対企業
での仕事
実践力

組織人や
受注者と
しての仕
事実践力

その他の
技術、ス
キル、能
力等

24. 【科学コミュニケーションに携わった歴】

(2020年11月時点でお答えください)

1つだけマークしてください。

- 1年未満
- 1~3年
- 3~10年
- 10~15年
- 15年以上

25. 下記の科学コミュニケーションに関する養成機関や講座のうち、所属している
(修了した) ものがあれば教えて下さい

当てはまるものをすべて選択してください。

- 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
- 東京大学 科学技術インタープリター養成プログラム
- 早稲田大学 科学技術ジャーナリスト養成プログラム
- 日本科学未来館
- 国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座

その他: _____

26. (参考質問) あなたはどんな目的(何のために)で、科学コミュニケーションと関わって(実践して、学んで、取り組んで)いますか?

27. 科学コミュニケーションに関する知識やスキルを培った経験を記述してください。

複数回答可(例: 研究活動、雑誌編集社での仕事、科学館でのボランティア活動、など)

28. (参考質問) 科学コミュニケーションの情報源について

あなたが科学コミュニケーションについて、参考にしている情報源やネットワークなどがあれば教えてください。

29. 前セクションまでのアンケート回答に掛かった所要時間を教えてください。

1つだけマークしてください。

5分未満

5~15分ほど

15~30分ほど

30分以上

その他: _____

30. このアンケートは、「職能としての科学コミュニケーションスキル」の社会的価値を整理する目的で実施する予定です。アンケートへのご意見、改善提案等ありましたら、ご自由にご記入ください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム